

【技術分類】 1-1-3 アンテナ/アンテナ素子/スロット型アンテナ

【 F I 】 H01Q3/26, H01Q21/06, H01Q3/26@C

【技術名称】 1-1-3-1 テーパスロットアンテナ

【技術内容】

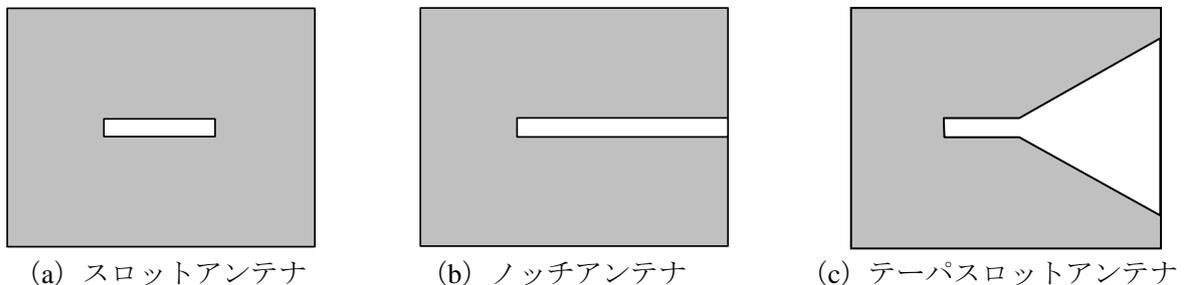
導体面上に開けた細長い溝はスロット (slot) またはノッチ(notch)と呼ばれ、図 1 (a)のような形状のアンテナがスロットアンテナ、または図 1 (b)のように一端を開放したものがノッチアンテナである。

テーパスロットアンテナは、ノッチアンテナの開口部を徐々に広げ、この開口部より放射を行うものである (図 1 (c))。テーパスロットアンテナは広帯域な周波数特性を有し、また、放射特性は単方向指向性を示す。

図 2 の例は、2つのテーパスロットアンテナをサブアレー化し、このサブアレーを用いて直線的にアレーを構成したものである。

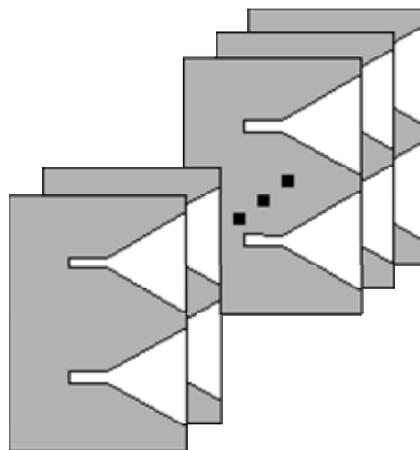
【図】

図 1 スロットアンテナ、ノッチアンテナ、及びテーパスロットの一般的構成



本標準技術集のために作成

図 2 2素子のテーパスロットからなるサブアレーを用いたアレー構成



下記資料を参考に本標準技術集のために作成

【参考資料】

- Shuichi OBAYASHI, Osamu SHIBATA, Hideo KASAMI, Hiroki SHOKI, Yasuo SUZUKI : 「An Adaptive Array Antenna Steered by IF Local Signal Phase Shifters for K-Band Broadband Fixed Wireless Access Base Station」, IEICE, Vol.E84-B No.9 pp.2523-2529 2001/9